

## SBINFTと九州電力はアートNFT販売領域での提携を開始します

— デジタルアート市場の活性化と発展に貢献し、新たな体験を創出する実証を開始 —

SBINFT株式会社（代表取締役：近藤 智彦、以下「SBINFT」）と九州電力株式会社（代表取締役社長執行役員：池辺 和弘、以下「九州電力」）は、SBINFTが運営するNFT<sup>※1</sup>マーケットプレイス「SBINFT Market」と、九州電力が運営するデジタルアートのキュレーション<sup>※2</sup>プラットフォーム「デジがろ」が、アートNFTの販売領域で提携することについて、本日合意しました。

本提携において、九州電力は「デジがろ」内でキュレーションしたデジタルアート作品を、「SBINFT Market」の機能を用いてPolygonチェーン<sup>※3</sup>上のアートNFTとして発行し、本日から一部作品を「デジがろ」内に掲載、2025年6月24日から作品を拡充の上、販売を開始します。九州電力は、当該NFTの売上の一部を、アーティスト及びキュレーターとしてデジタルアート作品を評価する学芸員資格保有者に還元します。

SBINFTは、九州電力が発行したアートNFTの取扱いを開始します。また、九州電力に対し「SBINFT Market」内でアートNFTを作成する機能と、アートNFTをクレジットカード決済で販売する環境を提供します。

本提携によって、九州電力はクレジットカード決済でのアートNFTの販売が可能になり、暗号資産を持たないユーザーも取引が可能になります。それによって、より多くの層に対する販売機会を創出でき、「SBINFT Market」を介した「デジがろ」によるアート作品の販売促進とアーティスト・学芸員資格保有者に対する収益機会提供の実現が期待できます。また、SBINFTは、九州電力によるアートNFTの販売を通じて、「SBINFT Market」の活性化が期待できます。両社は、本取組みがデジタルアート市場の活性化と発展に貢献し、新たな体験を創出できるものと考え、本提携に合意しました。

九州電力は、今後も「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九電グループの思い」の実現に向け、本実証を通じ、文化・芸術振興やデジタルアート市場の健全な発展を目指します。

SBINFTは、今後もお客さまのニーズに応えるサービス提供を通じ、お客さまの利便性と満足度向上を図りながら、様々な企業・団体と協業を進めつつ、日本のWeb3<sup>※4</sup>を牽引するビジネスの創出を目指します。

- (※1) Non Fungible Token（非代替性トークン）の略。ブロックチェーン（取引記録を暗号技術でつなぎ分散管理することで、データの改ざんを困難にする技術）上にトークン（ブロックチェーン技術を利用して発行されたデジタル上の資産）の固有情報を記録することで、他のトークンとの識別を可能にしたトークンを意味します。
- (※2) 対象を特定の視点で収集・選別・整理することや、編集・提示することで、そこに新たな意味や価値を付与する行為を意味します。本プレスリリース上では「デジタルアート作品の評価による価値の付加」という意味合いで使用しています。
- (※3) トークンの固有情報を記録するブロックチェーンネットワークの一つです。
- (※4) ブロックチェーン技術を活用した分散型ネットワークのインターネット環境を指し、次世代のインターネットとも呼ばれています。プラットフォームを介さずに、ユーザー同士が直接つながり、データを双方向で利用・管理できるなどの特徴があります。

## 【提携イメージ】

